

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇
～メールマガジン第 38 号(平成 29 年 8 月 25 日発行)～

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◆ I N D E X ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】 トピックス

- ・ DCM ホーマック東雁来店で防災フェア開催(札幌市)
- ・ 清水町備災シンポジウム(清水町)
- ・ 道総研セミナー「地震災害への心がまえと防災の意識」(札幌市)

【2】東日本大震災被災地派遣レポート ～派遣職員として震災復興に取り組んだ1年～(4)

【3】北海道庁からのお知らせ

- ・『北の災害食』レシピ 優秀賞が決定！

【4】編集後記

【1】 トピックス

こちらは、主に北海道内の防災の話題を紹介しています。

■ DCM ホーマック東雁来店で防災フェアを開催します。(札幌市)

ほっかいどう防災教育協働ネットワーク会員である DCM ホーマック株式会社様が東雁来店
で 9 月 3 日に消防車との記念撮影会や、AED・心臓マッサージ体験、消火体験、非常食の試
食など実施する防災フェアを開催します。

1 とき

平成 29 年 9 月 3 日(日) 10:00～16:00

2 ところ

DCM ホーマック東雁来店 店頭駐車場

3 内容

(1) 消防車との記念撮影会

消防車(①10:00～13:30 ②13:30～15:30)、はしご車(10:00～11:00)

※記念撮影されたお子様には、お菓子をプレゼント

(2) 災害対策用機械の展示

照明車・排水ポンプ車・対策本部車

(3) AED・心臓マッサージを体験してみよう

(4) やってみよう！消火体験 ※雨天時中止

(5) 非常食を食べてみよう

4 主催

DCM ホーマック株式会社

詳しくはこちら ↓

<http://www.homac.co.jp/shop/event/detail/id=11351>

■清水町備災シンポジウム(清水町)

8月27日に、防災まちづくりに取り組む住民団体「十勝清水プラス」主催による、清水町ハーモニープラザ内で「清水町備災シンポジウム」を開催します。アルファ米の試食や、災害ボランティア活動に関する講演、防災ゲーム「クロスロード」を使用したワークショップなどを実施します。

1 とき 平成29年8月27日(日) 11:20～16:00

2 ところ ハーモニープラザ(JR 清水駅隣接)

3 内容

11:20～ アルファ米の試食(先着50名様)

12:00～ 日勝道路・災害の映像で振り返る

13:00～14:30 基調講演「災害ボランティアの活動を通して」

14:45～ 災害対策ワークショップ

4 主催等 主催：十勝清水プラス 共催：清水町

■道総研セミナー「地震災害への心がまえと防災の意識」(札幌市)

9月1日は「防災の日」。この日を含む1週間は防災週間です。自然災害はいつ身近におきるかわかりません。平成28年4月に発生した「平成28年熊本地震」では、過去に例を見ない震度7の地震が連続して発生するなど、21万棟に及ぶ建物が何らかの被害を受けており、多くの方々が被災しています。

大規模な地震による住宅などの倒壊から生命や財産を守るために”住宅の耐震化”の必要性やその効果と地震災害が起きたときの心がまえや防災の意識を高めていただく機会として、地震防災についてわかりやすく説明します。

1 とき

平成29年9月9日(土) 15:30～16:30

2 ところ

紀伊國屋書店札幌本店 1 階インナーガーデン

3 講師

渡邊 和之(北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所構造計算適合判定センター構造判定部長)

※ 参加無料・事前申し込み不要

【2】東日本大震災被災地派遣レポート ～派遣職員として震災復興に取り組んだ 1 年～(4)
当課西谷内(昨年度、岩手県山田町へ派遣)の「東日本大震災被災地派遣レポート」。今回は、山田町の市街地の復興についてです。

山田町の市街地は、リアス式海岸特有の湾が入り込んだ地形のため、湾の僅かな平地に多くの住家が立ち並んでいました。東日本大震災による津波は、その沿岸部に面した市街地のほとんどを破壊し、場所によっては、火災も発生したことから、内陸にある地区を除き、山田町の全住家の半数以上が被害を受けました。

震災発生から 2 年目までは、がれきの処理に時間を要し、3 年目に復興計画を策定。4 年目から本格的な復興事業が始まり、漁業集落防災機能強化事業、都市再生区画整理事業による宅地整備と、災害公営住宅整備事業による高台の宅地造成で、続々と住家が建てられています。

特に JR 山田駅の周辺には、商業地として大きな商店街が 2 つありましたが、津波と火災で焼け野原となりました。町の復興計画ではコンパクトなまちづくりとする考えから、その 2 つの旧商店街の駅を中心とした商業施設に集約することで、街が生まれ変わることを目指しています。

商業施設の核には、共同店舗棟「オール」や、図書館機能を兼ね備えた「山田町ふれあいセンター」を開設するほか、山田町最大の災害公営住宅(3 棟、150 戸)も隣接して立地させ、利便性の高いコンパクトな街ができつつあります。

新たなまちづくりによって、被災で長らく離れていた住民が戻るにつれ、店主たちも前向きな気持ちになって、徐々にですが賑わいを取り戻しています。今回のレポートは、自主防災組織との取組みについて報告します。

【3】北海道庁からのお知らせ

■ 『北の災害食』レシピコンテスト 優秀賞が決定！

5月16日から7月14日まで2ヵ月間募集しました『北の災害食』レシピ。一般部門183作品、アレルギー対応食部門21作品、計204作品の応募があり、7月28日(金)に実施した審査において、下記のとおり優秀賞が選ばれました。

《一般部門》

- ・浅野幾代さん（苫小牧市）「心も体も温まる北海道自慢の三平汁」
- ・三島春花さん（北見市）「血液サラサラいわしの麦まるうどん」
- ・佐藤貴子さん（網走市）「ほっこり、にっこり！ポテトのミルク煮」

《アレルギー対応食部門》

- ・川合由希恵さん（札幌市）「みんなであったかツナ味噌雑炊」
- ・池田浩輝さん・永山陽子さん・渡部明賢さん（江別市）「棒たらと貯蔵野菜のカレー風味噌汁」
- ・山口由華（札幌市）「おしるこ〜ん」

以上の作品から、9月1日に札幌市立緑丘小学校内で実施予定の『北の災害食』レシピコンテスト内で最優秀賞を決定します！

詳しい内容はこちら↓

URL:<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/about/kitano-saigaishoku>

【編集後記】

8月11日（金）は山の日でしたね。その日は日直で職場に出勤していたので山に登ることはできなかったのですが、翌週、樽前山とニセコアンヌプリに登ってきました。

そのときに感じたのが、結構軽装で登山している人が多いな—ということ。サンダル履きで登る女性、ジーンズにボディバック一つで登る男性などなど。

今年は熱中症や脱水症状を訴える遭難者が多く、遭難件数も過去最悪のペース、という新聞報道もありました。

樽前山もアンヌプリも、登山口が山の中腹にあり、山頂まで1時間半程度の比較的登りやすい山ですが、だからといって安易に甘く考えないで、きちんと準備をして、安全第一で登ってほしいものです。（はやさか）